

武装した男子埴輪「旧さきたま考古館展示土器類」から

以前紹介した市指定文化財「旧さきたま考古館展示土器類」の埴輪たち。この資料群に含まれる「昭和13・11大字埼玉丸墓通（小字名）」出土と考えられる半身埴輪像群の一つは、武装した男性の姿と考えられます。

高さ約61センチメートル、腰に両手を当てた姿のこの男子埴輪は、円形の模様が線刻されている被り物を被り、下げ美豆良をしています。下げ美豆良とは、二つ分けした髪を束にして垂らす髪型で、比較的上位層の人々が結んでいたと考えられる髪型です。頸には9個の勾玉の首飾りが表現されており、この勾玉の表現方法は同じ場所から出土したと考えられる女子埴輪と共通です。

そして最大の特徴は、やや幅広の胴部に施された掛甲（けいこう）と思われる表現です。掛甲とは、古墳時代に用いられた甲で、小札と呼ばれる小さな金属板を革紐や組紐などでつづり合わせてあります。この埴輪では、格子状に刻まれた線刻でこの掛甲を表現して



「旧さきたま考古館展示土器類」男子埴輪（郷土博物館蔵）

いると考えられます。掛甲は、渡来文化の一つとして日本にもたらされ、古墳時代後半ごろからは、それまでの短甲と呼ばれる丈の短い甲に代わる程の広がりを見せました。大きな金属板を鋳留めし、革紐でつなぎとめる短甲に比べ、小札を連ねる掛甲は可動域が広く、動きやすい点が重宝されたと考えられます。またこの埴輪は、左腰に大刀を佩いていた痕跡も見受けられます。複数の埴輪たちで構成される場では、大概において主役である人物は大きく、全身像で表現されます。しかし、この埴輪は半身像であるにも関わらず、高位の武人と思われる様相を示しています。これは、埴輪が置かれた古墳が小円墳であることが理由の一つかもしれません。

（郷土博物館 浅見貴子）

はじめまして



令和3年3月生まれのお子さんを募集します

- 1月4日(火)～31日(月)に電話またはEメールで広報広聴課(内線318) ※応募要領は市ホームページをご覧ください。
- 応募者多数の場合は、令和4年2月2日(水)午前11時から市役所307会議室で公開抽選を行います。



令和3年1月生まれのおともだち



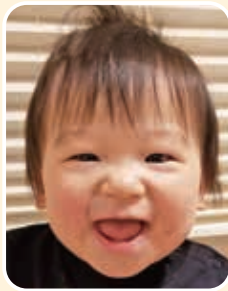
金沢 澄陽ちゃん（埼玉）
令和3年1月7日生まれ
父・真純さん 母・明日香さん
「金沢家の癒し系☆
兄弟仲良くね！」



松岡 朋宏ちゃん（門井町）
令和3年1月12日生まれ
父・亮佑さん 母・綾乃さん
「たくさん食べて
大きくなあれ!!」



矢野 巧望ちゃん（佐間）
令和3年1月20日生まれ
父・篤志さん 母・和美さん
「笑顔が癒し♡我が家の
アイドルたっくん！」



森田 真裕ちゃん（谷郷）
令和3年1月2日生まれ
父・昇さん 母・里佳さん
「産まれてきてくれてありが
とう♡元気に育ってね♡」



新井 玲衣ちゃん（持田）
令和3年1月11日生まれ
父・康之さん 母・詠美さん
「かわいい大好き♡」



小田 叶愛ちゃん（佐間）
令和3年1月5日生まれ
父・剛三さん 母・佑香さん
「たくさん幸せをありがとう。
大好きだよ♡」

今月の表紙

今月の表紙は、市内在住の油絵画家 吉野光さんが制作した作品です。「新たな年が笑顔に満ちた明るいものとなるように」という思いから、繊細なタッチで色鮮やかな花手水を額一面に描いていただきました。

なお、こちらの作品は、期間限定で市役所ロビーに展示されます。詳しくは、23ページをご覧ください。



現在の友だち登録数27,200人!

行田市公式LINEの友だち登録はこちらから!

● 市政・イベント・防災などに関する行政情報を発信します。

ホームページ <https://www.city.gyoda.lg.jp>



環境にやさしい
植物油インキ

市報ぎょうだは
再生紙を
使用しています